



みよし未来環境会議2025 活動成果報告書

令和8年3月

活動目的

三次市の未来の環境づくりに若い世代の意思や感性を
反映する

3代目サステナアンバサダー

17名（高校生7名、中学生10名）

活動の柱

- A 知る・学ぶ
- B 実感・体感
- C 共有
- D 計画・実行



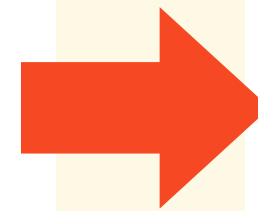
活動の柱

4つの活動の柱とは？



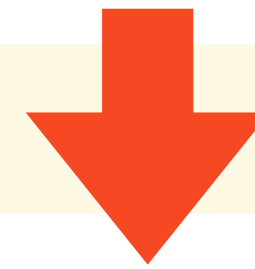
A 知る・学ぶ

地域の人のお話を聞いたり
大学の先生からの講義を
受けたり
正しい知識を身に着け
「みよしのいま」を知る



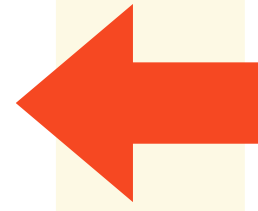
B 実感・体感

地域の取組に参加したり
初めてのことに挑戦したり
実際に自分からやってみる！



C 共有

自分の考えを伝えて
相手の考えを知る
いろんな考えを取り入れて
理解を深める



D 計画・実行

三次の自然環境などについて
意識調査アンケートを
実施する
普段の生活で自分に
できることを実践する

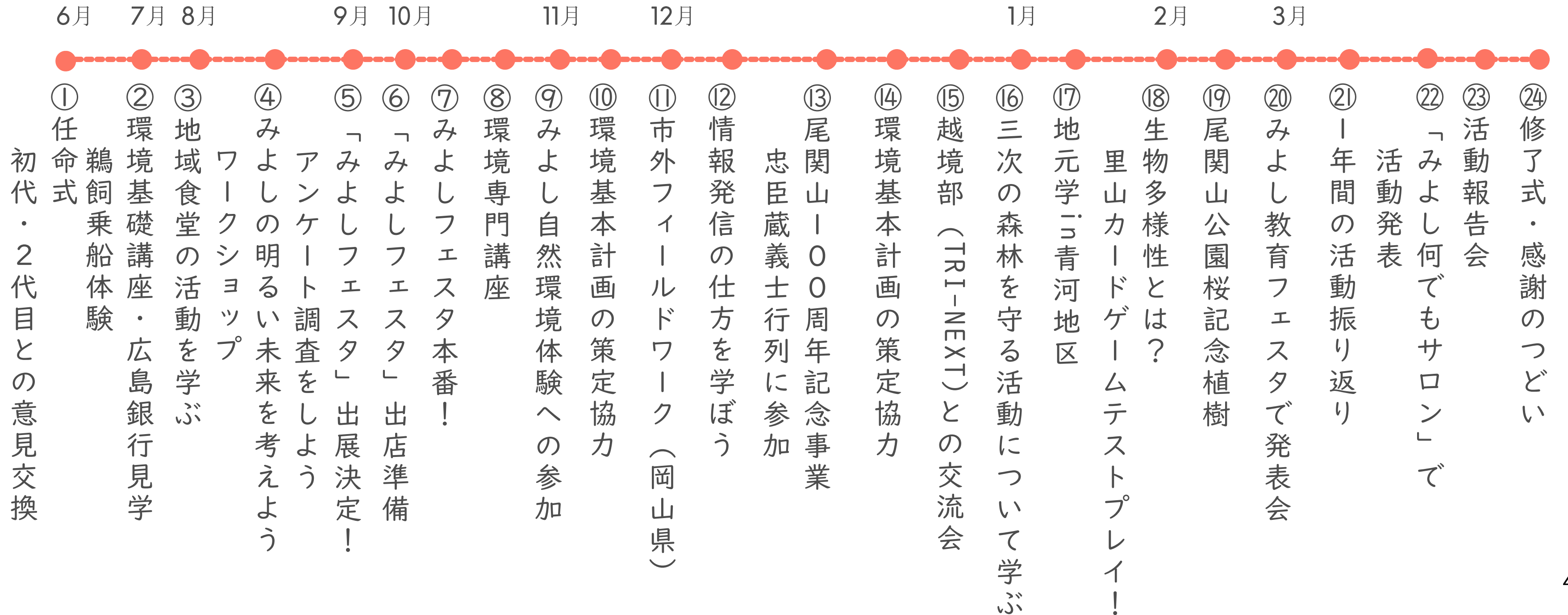


年間スケジュール

3代目サステナアンバサダー17人の1年間の軌跡

2025年

2026年



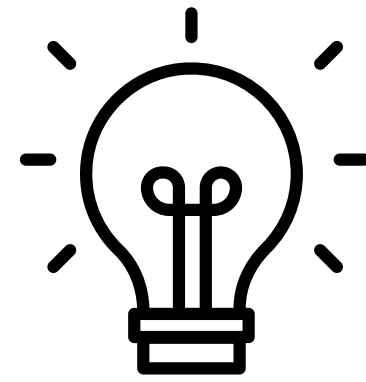
みよし未来環境会議2025の活動テーマ



今年度のみよし未来環境会議は
三次市環境基本計画の策定を目標に
活動をスタートしました。

本市は2050年にカーボンニュートラルの
実現をめざし、
2024年6月に「みよし未来環境宣言」を
表明しています。

中高生の環境保全に対する意見を
市政に反映するべく、
持続可能な三次市とは？を考える
ワークショップや実践活動を行いました。



現状を知る

まずは、今住んでいる三次市の現状を知ることが目的に、
活動の柱「A知る・学ぶ、B実感・体感」を中心に研修や
フィールドワークを実施しました。



自分の考えを発表する

実感・体感して感じたことを共有することで
視野を広げ、色々な視点の角度を持つことを目的とし、
ワークショップ等を実施しました。



環境基本計画の策定

会議を重ねて「100年後も1000年後も持続可能な三次市」
にするために、三次市環境基本計画に
感じたことを計画に反映するべく、ワークショップを
実施しました。

初代サステナアンバサダーが考えた、三次市がめざすべきまちのすがたを引き継ぎ、この「6つの目標」に今の三次市が近づくためにはどんなことが必要なのか、自分たちに何ができるのか、何をすべきなのか、を考えることにしました。



①省エネルギー、 再生可能エネルギーで支えるまち

地球温暖化対策、気候変動適応策 等

④平和を広げるまち

環境教育・環境学習の推進、共生社会の実現 等

②生き物にやさしいまち

自然環境の保全、生物多様性の保全 等

⑤地産地消を進めるまち

地域の活性化、地域経済の活性化 等

③資源を循環させるまち

循環型社会の実現 等

⑥人を呼び込める魅力あるまち

地域振興、定住・移住の推進、歴史・文化の継承 等

任命式、初代・2代目サステナアンバサダーとの意見交換会



活動内容

三次市長から3代目サステナアンバサダーとして任命され、初代・2代目サステナアンバサダーと意見交換を行いました。

目的

- ①興味・関心のあるテーマの共有をすること
- ②サステナアンバサダーとしての目標を決めること

アンバサダーのコメント

- 環境問題についてたくさんの人に伝えられる様になりたい！
- 環境について考えて三次市をもっと良くしたい。
- 緊張していたけど思ったより楽しそうで安心。



環境基礎講座、もくろすみよし（広島銀行）見学、鶺鴒乗船体験



活動内容

まずは知ること！県立広島大学の小林准教授をお招きし、環境基礎講座を受講しました。三次にあるZEBの見学と、伝統の鶺鴒乗船体験を行いました。

目的

- ①環境問題について正しい知識を身に着けること
- ②三次のことを自分で体験し、もっとよく知ること

アンバサダーのコメント

- ・今まで自分が持っていた環境問題の知識が曖昧だったことが分かった。
- ・銀行が環境に関する取組をしていたことに驚いた。
- ・鶺鴒を実際に体験してみて、三次の伝統をもっと広めたいと思った！



地域食堂の活動に学ぶ（田幸地区いきいき食堂）



活動内容

地域の居場所づくりとして活動されている地域食堂に参加して、その目的や思いを共有しました。

目的

- ①地域のなかでのつながりの大切さを学ぶこと
- ②フードロス対策について学ぶこと

アンバサダーのコメント

- いきいき食堂が地域にとって大切な場所になっているのいいなと思った！参加してみたい。
- いきいき食堂ができたきっかけを聞いて、とりあえずやってみることが大切だと思った。
- 広島県内だけでなくもっと良さを広めて行ってみたいという人が増えればいいなと思った。



環境基本計画の策定協力（みよしの未来を考えようワークショップ）



活動内容

令和7年度に策定される「三次市環境基本計画」にアンバサダーの意見を反映させるため、自分たちになにができるかを考えるワークショップを実施しました。

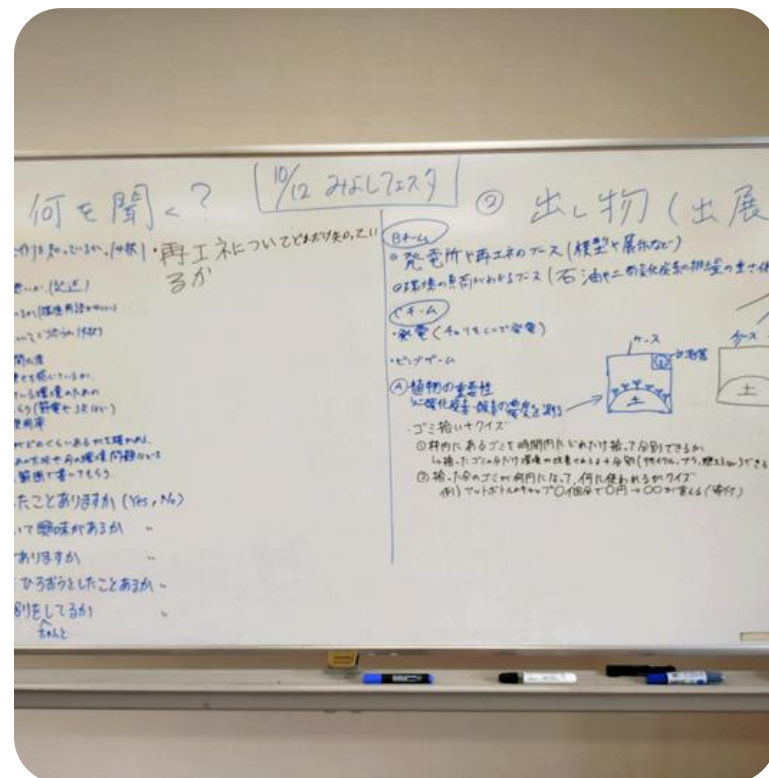
目的

- ①アンバサダーの意見を環境基本計画に反映させること
- ②持続可能な三次市に必要なことは何か考えること

アンバサダーのコメント

- 今の環境問題を解決するには大きいことではなく身近な小さいことから行うことが大切。
- 三次市民にアンケートを取ってみよう。
- 自分たちの未来は今の自分たちの行動で決まる。未来のための活動を今からコツコツ行っていくべき。

「みよしフェスタ2025」出展に向けて（アンケート・出展ブースの計画）



活動内容

「みよしフェスタ2025」でアンケート調査の実施を計画しました。みんなに環境保全を意識してもらうためにどんな出展ブースにしたら良いか？を考え、ワークショップを実施しました。

目的

- ①みよし未来環境会議の活動を知ってもらうこと
- ②広くみんなに興味を持ってもらえるように考えること

アンバサダーのコメント

- ・調査結果から年代別の呼びかけができるといいな。
- ・環境問題の現状や自分たちにできることを知ってもらい、環境問題を少しでも良くしたい。
- ・環境に注目する必要性を伝えたい。



「みよしフェスタ2025」 出展



活動内容

来場者の方に声をかけ、約150枚のアンケートを回収しました。出展ブースでは、自転車や手回しのできる発電機を設置したりゴミ分別ゲームを実施したり環境問題の啓発となるよう、運営しました。

目的

- ①みよし未来環境会議の活動を知ってもらうこと
- ②広くみんなに興味を持ってもらえるように考えること

アンバサダーのコメント

- 人に話しかけるのが難しかった。
- もっと親しみのある環境条例を作るべきだと思った。
- 戦争やケンカがないあたりまえの生活が良いと回答した人が多かった。環境関連であることをもっと伝えたい。



環境専門講座



活動内容

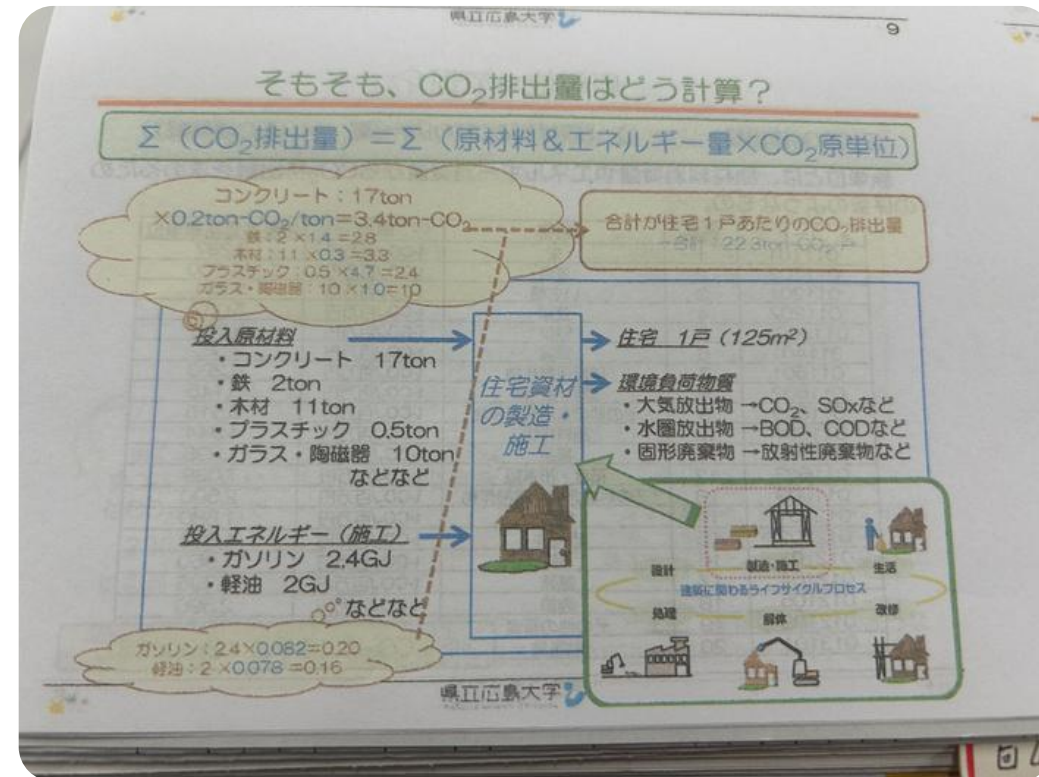
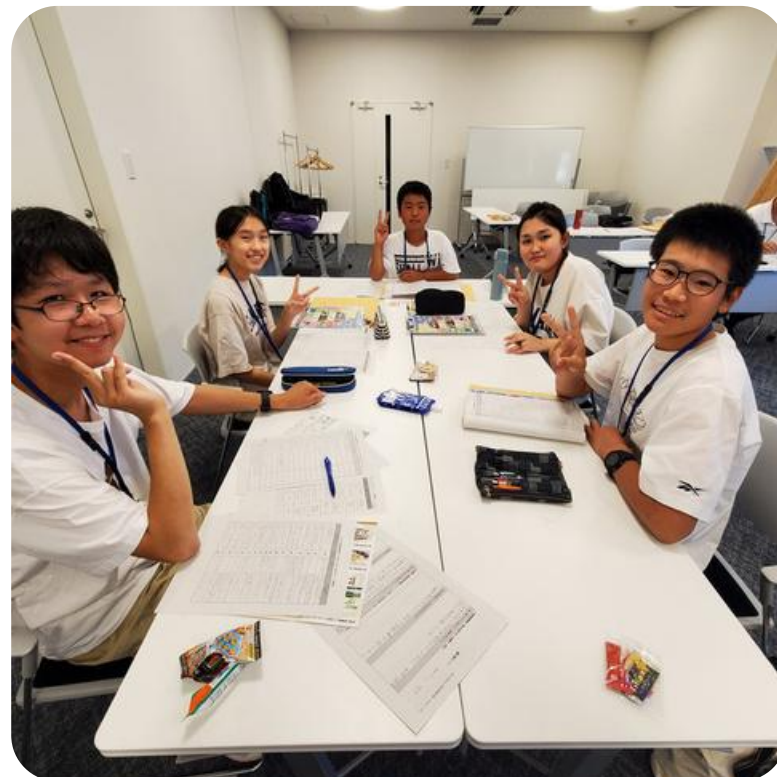
持続可能な三次の未来づくりを担う大使として専門的な知識を身に着けるために、県立広島大学の小林准教授の「環境専門講座」を受講しました。

目的

- ①正しい知識を身に着けること
- ②LCA（ライフサイクルアセスメント）を理解できるようになること

アンバサダーのコメント

- 地球温暖化＝CO₂と結びつけてしまいがちだけどそれだけじゃないことが分かった。
- CO₂だけではなく他にも危険なものがあることを伝えていきたい。
- 自分でもっと環境問題について調べてみたい！



三次市のイベントに参加！



活動内容

第9回では「みよし自然環境体験」へ、第13回では「尾関山100周年記念事業 忠臣蔵義士行列」へ参加しました。

目的

- ①参加小学生の活動サポートをすること
- ②三次所縁の歴史を学ぶこと

アンバサダーのコメント

- 自分の思っているよりも三次について知らなかったことに気が付いた。
- 三次に住んでいるのに歩いているところが分からなかったことに驚いた。



市外フィールドワーク（広島市・岡山県井原市・笠岡市・倉敷地区）



活動内容

他市町の取組を見たり、実際に体感するべく、一泊二日で市外フィールドワークを行いました。平和記念公園や広島城、美星天文台や倉敷美観地区を訪れ、三次に帰って活かせることを探しました。

目的

- ①外を学び三次の良さを知ること
- ②外から三次市を見てみる

アンバサダーのコメント

- 実際に行ってみて、知って、伝えることの大切さを実感した。
- 生物を保護し学ぶことは、人を守ることと同じだと思った。
- 広島県民だから知っていると思っていたけど、知っているのは一部だけだったことが分かった。実際にやってみることはすごく大事。





市外フィールドワーク（広島市・岡山県井原市・笠岡市・倉敷地区）



情報発信の仕方を学ぼう



活動内容

持続可能な三次市にするため、人を呼び込める魅力あるまちを目指し、情報発信の方法を岡田アントニー・ルイスさん（株）なちゅbioから教わりました。実際にTikTokで動画も作成しました！

目的

- ①自分でやってみること
- ②魅力的なPR方法を考えること

アンバサダーのコメント

- みよし未来環境会議の活動内容をもっと発信したい！
- 環境保全活動で私たちができることをもっと知ってほしい。
- アンバサダーの活動を発信して参加してくれる人を増やしたい！



越境部 (TRI-NEXT) との交流



活動内容

三次市教育委員会の越境部とのコラボ企画で、同年代の生徒との活動交流会を実施しました。ワークショップでは色々な気づきがあったようです。

目的

- ①自分の活動や気づきを伝えること
- ②色々な考え方を取り入れること

アンバサダーのコメント

- 自分が体験したことのないことや知らなかったことを知る機会になった。
- 特定の人だけや考え方が似た人たちに偏らずに、いろんな人の意見や活動を知れるから、混ざる学びって大切だと思った。
- 自分から実践する行動力を身に着けたい。



三次の森林を守る活動を知る！



活動内容

三次地方森林組合から貞廣組合長をお招きし、三次の森林を守る活動について学びました。実際にどんなことが行われているのか、自分たちにできることは何かを一緒に考えました。

目的

- ①正しい知識を身に着けること
- ②実際に行われている活動を知ること

アンバサダーのコメント

- 三次市内の木も高齢化しているから二酸化炭素の吸収量が少なくなっていることが分かった。
- 地域の森林を豊かにすることで、土砂災害等の発生を抑えることにつながると思った。
- 今日知ったことをたくさんの人に広めたい！



地元学in青河地区



活動内容

青河地区の取組を取材し、模造紙にまとめて発表しました。発表会は青河の地域の方がたくさん見に来てくださり、発表後は地域の方とコーヒーやお茶を飲みながら意見交流会を実施しました。

目的

- ①実際の青河地区の取組を知ること
- ②自分の意見を話し、相手の意見を聞くこと
- ③自分たちにできることを考えること

アンバサダーのコメント

- 三次市内のほかの地域ではどんな取組をしているのか調べてみたい！
- 地域のことについて知れる機会をもっと増やしたい！
- 緊張したけど一生懸命聞いてもらえて嬉しかった。

「生物多様性の保全」とは？



活動内容

安佐動物公園から佐藤さんをお招きし、生物多様性の保全について学びました。
また、ほしはら山の学校で開発中の「里山カードゲーム」のテストプレイで三次市の里山のいきものを学びました。

目的

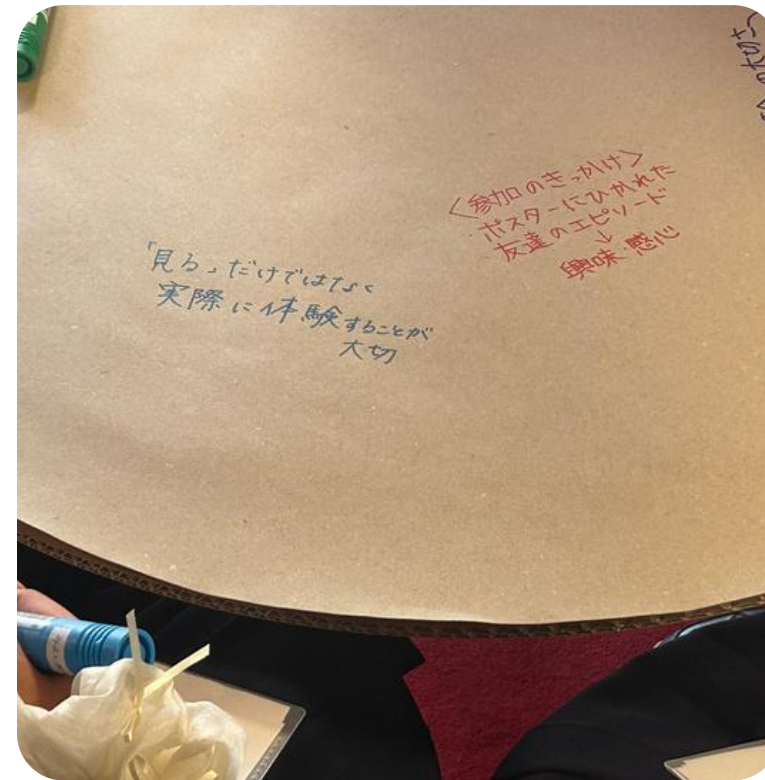
- ①正しい知識を身に着けること
- ②自分にできることを考えること
- ③人に伝える方法を実践すること

アンバサダーのコメント

- 環境破壊につながらないように、自分の生活の中でできる二酸化炭素の削減の行動をしようと思った。
- 絶滅危惧種に指定されるほど減少してからでは遅いので、今から守る対策を考えるべきだと思った。
- ゲームしながら環境について考えられるのはすごい！楽しかった！



活動発表・意見交流会



活動内容

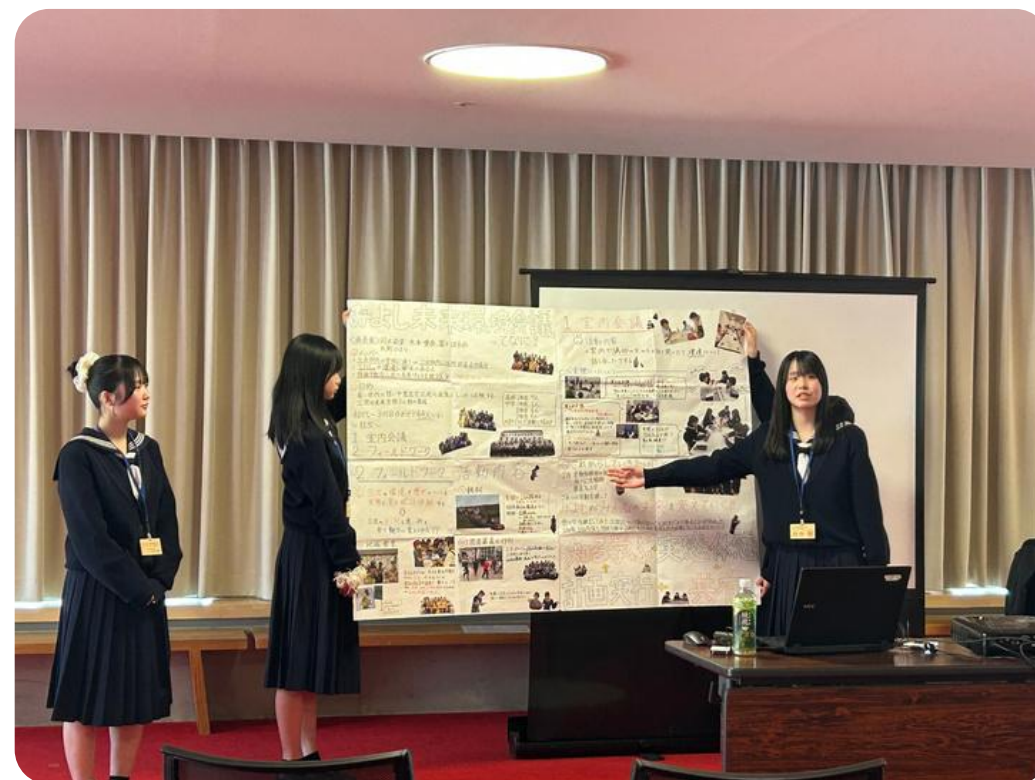
約1年間の活動の発表や、地域の方と意見の交流をしました。中学生だからこそ、高校生だからこそ、できることは何か？を考えました。

目的

- ①自分の意見を伝えること
- ②自分がすべきことは何か？考えること
- ③いろんな人と交流すること

アンバサダーのコメント

- ・見るだけでなく、体験することが大切なんだと改めて思った。
- ・発言に責任を持つことが大事。
- ・大人だけでなく自分たちのような学生でも行動すべきことがあることを伝えたい。



数字でみる2025年度の活動

3代目サステナアンバサダーは1年間で色々な活動を行いました。
ここでは、1年間の累計をご紹介します。

初代～3代目
アンバサダー人数
(累計)

44名

みよし未来環境会議
2025開催回数

24回

ワークショップ
開催回数

10回

アンバサダー
延べ活動参加人数

285名

みよしフェスタでの
アンケート回収枚数

153枚

環境基本計画策定ロードマップ

ワークショップ②

「みよしフェスタ2025」
でアンケートをとろう！
どんな質問にする？

アンケートの実施

来場者にアンケートを実施。
合計で150枚以上を回収。
意外とみんな環境保全に興味
がありそう。

素案の改善

環境政策課から素案を提示。
率直な感想を聞きながら、
計画案を磨きました。

環境政策課

サステナアンバサダーも
後世に伝えていけるよう
誰もが興味を持ちやすい
デザインにしたい！

教材としても 使われるように

1年間で感じたこと、
自分たちにすべきことが
形になりました。

第5回会議



みよしフェスタ

第10回会議



デザイン化

完成！



第4回会議



第6回会議



第8回会議

みよしフェスタ 振り返り

アンケートの結果から
興味はあるけど実行できて
ない人が多かった。
どうやったら実行してもら
えるだろう？

第14回会議

素案の改善(2)

策定委員会後の素案を提示。
さらなる改善点について
話し合いました。
もっと読みやすい
内容にするには？
もっとこんな風に伝えたい！

調整

環境政策課

環境審議会、策定委員会を
経て、三次市環境政策課内で
調整を行いました。

ワークショップ①

大人になったとき
どんな三次になっ
てほしい？

ワークショップ③

アンケートの内容は
これでいいかな？
どうやって声をかけ
ようかな？



わたしたち、みよし未来環境会議のサステナアンバサダーは、三次の美しい自然や豊かな環境がこの先もずっと続いていくように様々なことを学び、実際に体験しみんなと共有し、そして行動していくという活動をしています。

2026年2月、尾関山公園内に桜「舞姫」の記念植樹を行いました。

この桜が、わたしたちや、今三次で暮らしている人、これから三次で生きていく人たちをつなぐシンボルとなること、そして2050年に、美しい三次をみんなで確かめることができる場所になっていることを願っています。

わたしたちは、一人ひとりの小さな行動が、未来を変える大きな力になると信じています。

みよしからみんなの未来を変えていきましょう

詳しい活動記録は

こちらから



三次市 環境政策課環境政策係

TEL : (0824) 62-6136

MAIL : kankyo@city.miyoshi.hiroshima.jp



みよし未来環境会議 2025

環境やSDGsを本気で考える 持続可能なみよしの未来づくりを担う 17人のサステナアンバサダー



三次市の脱炭素に向けた取組をもっと詳しくご紹介!
<https://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/sashiki/28/1256.html>



三次市十日市二丁目9番1号 [三次市 市民部 環境政策課] TEL 0824-62-6136 FAX 0824-62-6397